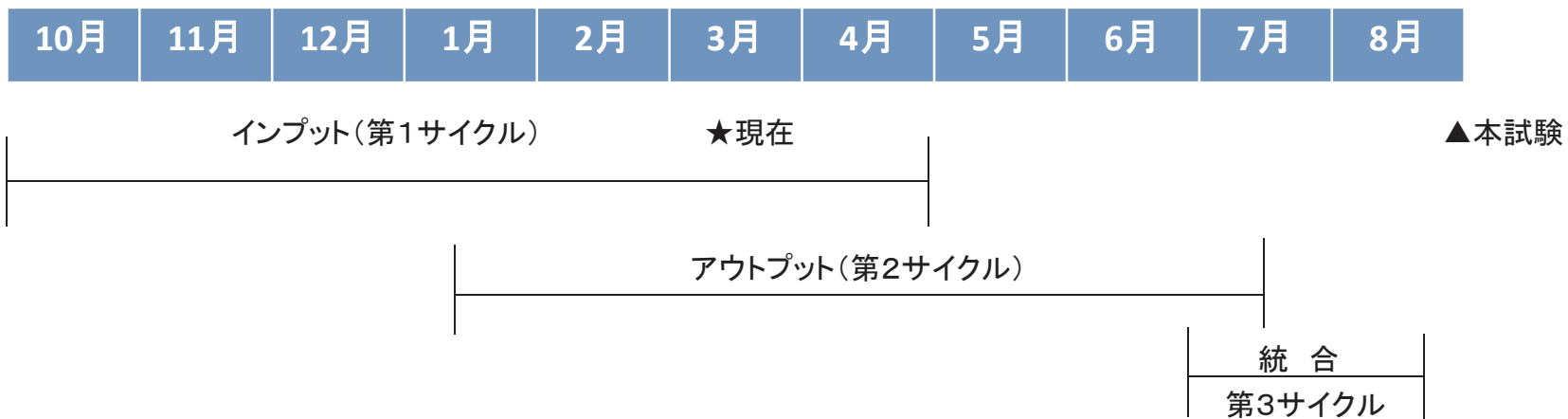


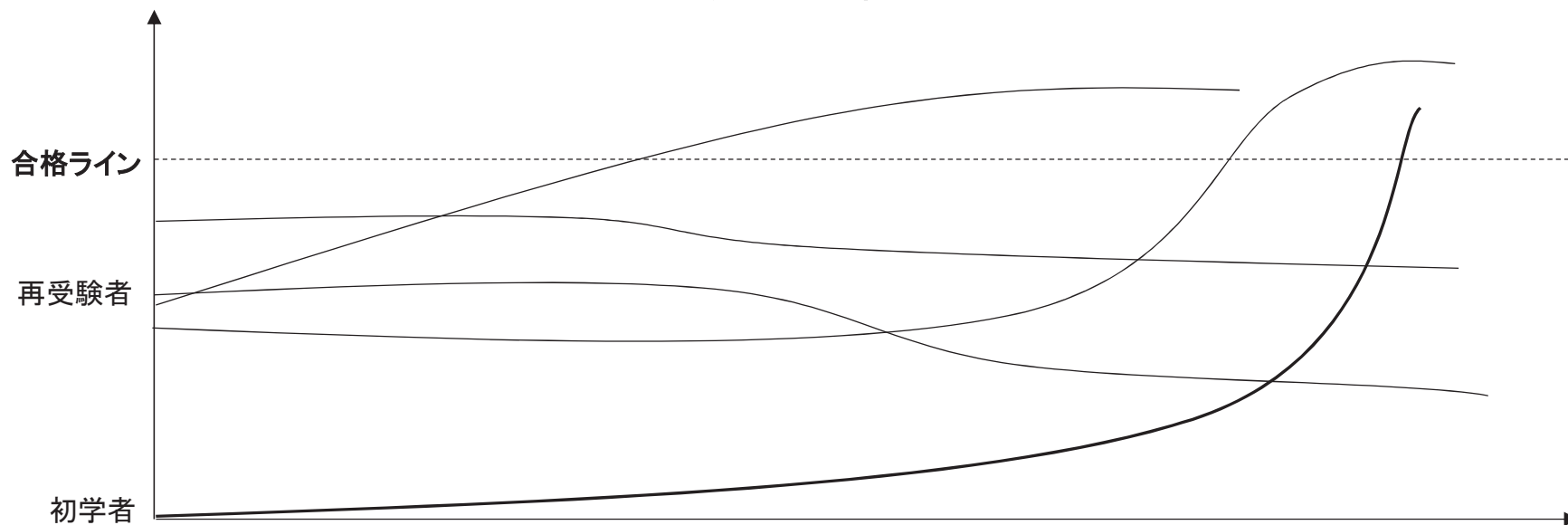
# 学習計画の参考資料

継続は力なり！

# 1 中盤以降の学習のイメージ



## <実力曲線>



## 2 学習の中盤期を効果的に駆け抜けるために！



### ● 学習の見直し

(無理, ムラ, 無駄の洗い出し)



### ● 弱点の発見

(科目ごとに検証)



### ● 学習計画を立てる

(後述4以降参照)



### ● 自己目標の設定

(科目ごとに設定)



### ● 国民年金, 厚生年金の過去問演習

(1日10問ずつ演習する。継続は力なり)

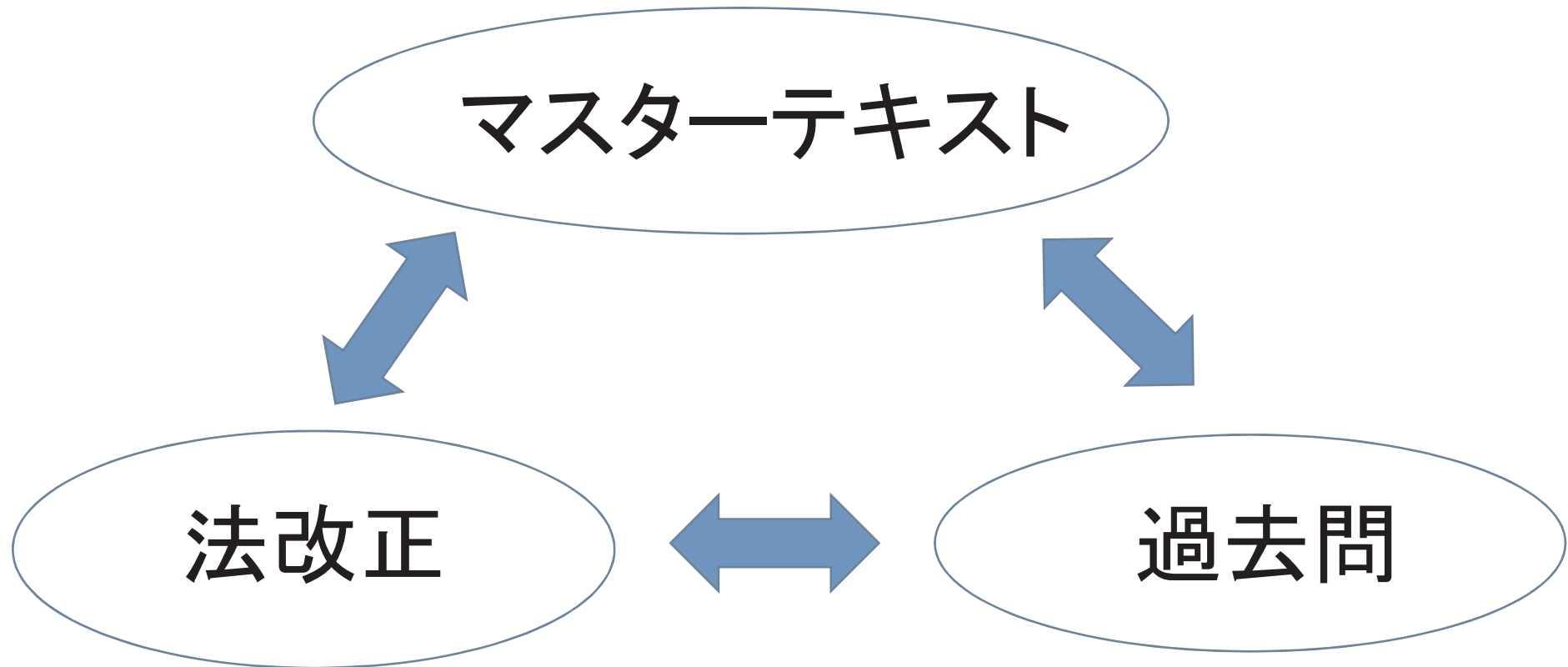
### 3 合格ツールのチェック

受験の三種の神器  
の活用法



<テキスト・過去問・法改正>

- ①テキストを軸にして読み込む
- ②過去問で出題論点のチェック
- ③添削問題で法改正問題をチェック



## 4 学習計画を立てる

### 月単位の学習 計画(予定表A)

- ・ 大まかな目標を月ごとに掲げる
- ・ 弱点科目や得意科目でも弱点項目の洗い出し

### 週単位の学習 計画(予定表B)

- ・ その週に行う学習教材を明記する  
(科目と教材を具体化する)

### 日単位の学習 計画(予定表C)

- ・ 1日ごとの学習量を設定 (学習するテキストのページ数や問題訓練の数)

## 5 第2サイクルの学習ポイント

1

- 学習時間を増やす

2

- 第1サイクルより短期間で学習

3

- アウトプット訓練で不正解力所を必ず克服

4

- 学習項目ごとに制限時間を設定

5

- 受験ポイントのまとめと暗記

6

- 質問制度の活用

## 6 アウトプット学習のポイント

直前期の予習は避ける！

- ・ あいまいな箇所のおぼり出しを行う

択一式問題は正解肢を探す！

- ・ 解答時間は、正解肢を選ぶ力を付けることに集中する

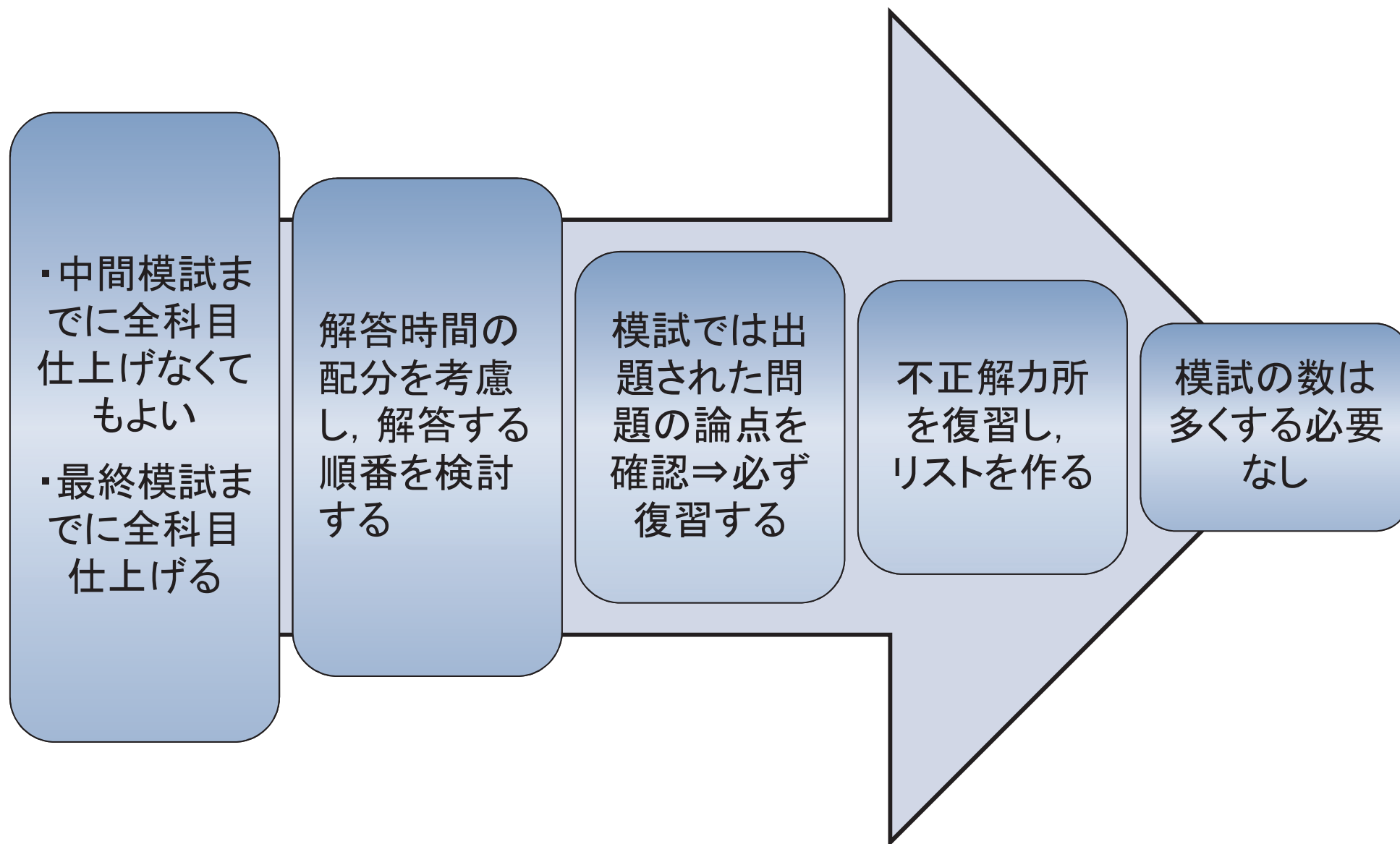
選択式問題は時間を最大活用！

- ・ 本番さながらに解答時間をフルに活用して解答する

不正解力所は必ず復習！

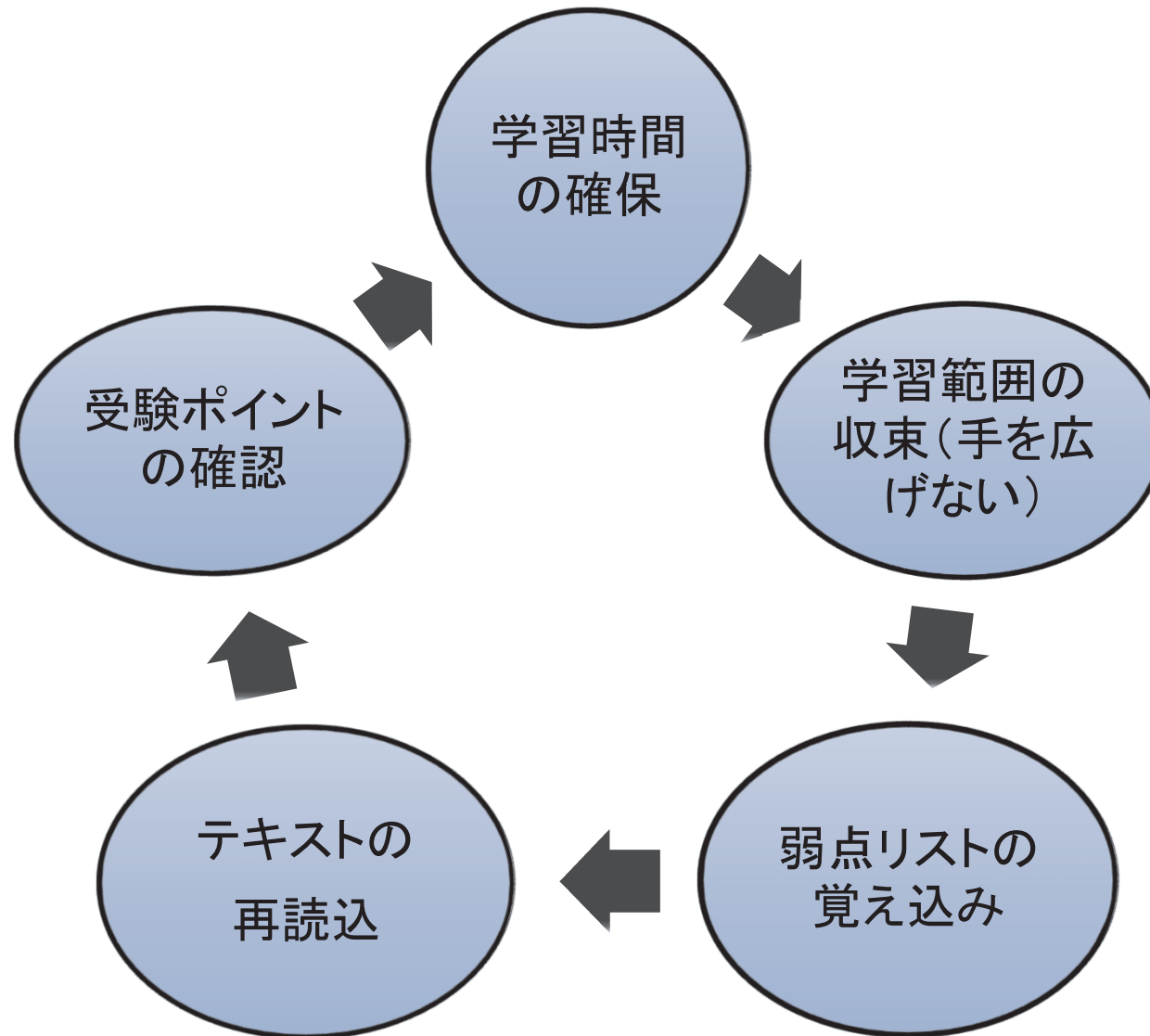
- ・ 答案練習終了後は、1肢1肢の論点を確実に知識の定着させる

## 7 中間・最終模擬試験の活用方法





## 8 直前期(8月)の学習のポイント



## 9 短期ゼミの活用方法

### 横断整理ゼミ

- 労働・社会でインプットした知識が混乱したとき、正確に整理することが必要。共通項目を確認して、得点アップにつなげる。

### 法改正ゼミ

- 本試験でも出題確率が高く、その年の出題範囲の改正項目の辞書的存在。練習問題を併用して知識の定着を図る。

### 年金特訓ゼミ

- 苦手な年金2法を受験対策的に攻略するゼミ。基本テキストをコンパクトにまとめたゼミテキストを使用し、受験ポイントを確認して、年金2法で高得点を確保するが目的。

### 直前総まとめゼミ

- 主要6科目の中で、最優先に学習する15項目を押さえることで、本試験でのベースとなる知識を確保する。附録ゼミで安衛法と徴収法の2科目をフォロー。

### 白書統計ゼミ

- 苦手な白書を受験対策的にまとめた講座。白書の読み方や労働経済の数値の押さえ方を習得。